



浪江町議会議長
平本佳司



新年のご挨拶



浪江町長
吉田栄光



ご壮健にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年一年の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

昨年を振り返って

昨年の大きな出来事として「福島国際研究教育機構（FIERE）」の事業開始が挙げられます。この施設は東北復興の中心的存在となりますので、立地町としてしっかりと周辺環境を整備してまいります。

水素関連事業においては、カルフォルニア州ランカスター市、ハワイ州ハワイ郡との連携を開始しました。浪江は世界の先駆者としての注目度が高く、今後は産業振興、人口増加といったことが期待できると考えています。

農業分野では、営農への負担を軽減するための育苗施設が完成しました。そして、新たに避難指示が解除された地区では試験栽培がはじまり、私の地元（室原）でも故郷の原風景が蘇り、仲間とともに再び稲刈りができることに復興の喜びを感じました。

帰還困難区域について

昨年春、津島、末森、室原の特定復興再生拠点区域で避難指示が解除となりました。津島では様々なイベントが開催され、貴重な文化や長い歴史を知っていただく機会となりました。これから、それぞれ地域の特徴に合わせた復興施策を進めてまいります。

そして「特定帰還居住区域」という新たな制度ができました。何度も住民の方々と車座で意見交換を行い、国に申請の書類を提出しましたので、できるだけ早く除染を開始していただきたいと思っております。

しかし、様々なご事情により帰還を諦めざるを得なかった方々もおられます。そういった方々のご意向も踏まえ、これからのことを考えなければなりません。私の町長としての任期の中で、全域での避難指示解除に向けた方向性を出せるよう国に働きかけてまいります。

生業の回復

12月「請戸の魚市」「請戸のまつり」が開催され、多くの方々で賑わいました。また、新型コロナウィルス

感染症の5類感染症移行により、商工業においてもこれからようやく元気が出てくると思います。町としても企業誘致や駅周辺整備事業など交流人口増加に向けた施策に力を入れるとともに、地域経済への還元、商圏、生業の回復に努めてまいります。

これからの町づくり

町の将来に向けて財政基盤を強くしていかなければなりません。水素など新しい産業の育成もその一つですが、FIEREの立地に対応して産学官一体で産業振興を進めるため町は「浪江国際研究学園都市構想（仮称）」を策定いたします。高等教育機関を含めた人材育成、先人が作り上げた伝統文化の継承などを含め、誰もが暮らしやすい町を目指してまいります。

そのうえで、高速道路の無料化、医療費の減免措置は、現在も避難を余儀なくされている町民にとって必要不可欠でありますので、こうした制度の延長もしっかりと要望してまいります。また、医療の問題など、いまだ町民の皆様には多くの不

由をおかけしております。解決には時間がかかりますが、昨秋、浪江診療所で小児科診療が始まり、診療所の隣には調剤薬局がオープンしました。町内での訪問診療、さらにオンライン診療についても検討が始まっております。

移住情報誌にて浪江町が住みたい田舎ベストランキングで第一位に選ばれました。浪江町の魅力をご評価をいただいたことはたいへん光栄なことでありますので、これからも、できることから積み重ね、一歩一歩前進してまいります。

結びに

先日、道の駅なみえから、お年を召したご夫婦が、二人手をつないで楽しそうに出てこられました。私は、とても温かい気持ちになりました。誰もが、こうした穏やかな日常が過ごせるように、これからも全力で私の責任を全うしてまいります。

令和6年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございませ。議会を代表しまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会への深いご理解と、議会活動への温かいご支援・ご協力に対し、議員一同、厚く御礼を申し上げます。

今年、新型コロナウィルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行してから、初めてのお正月となり、久しぶりにご家族やご親族が集まり、にぎやかなお正月をお過ごしになったことと思います。お正月を本来の形で迎えて、ささやかな幸福を実感した方も多かったのではないのでしょうか。

さて、昨年を振り返りますと、地球温暖化の影響で、10月まで暑さの厳しい時期が続きました。皆様におかれましては、体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。また、その暑さの影響で、例年以上に町内の空き地で雑草

が繁茂し、景観上あまり好ましくない状態となりました。これは、避難指示が出された地域に共通する問題であると思っております。

そして、これからの急激な人口減少により、日本全体がこの問題を抱えていくことと思っております。

雑草が繁茂する問題を解決するのは、容易なことではございませんが、今年、議員一同知恵を絞って、少しずつでも解決できるような、町とともに方策を考えてまいります。

さて、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からまもなく13年を迎えます。議会としては町民の皆様がどのようなことを感じ、何を求めているのかを意識し、町民の声を、町はもろろん国や県などにも届けるべく、努めております。

しかし、その一方で町民の皆様から、「議会活動が見えない。」との厳しいご意見を数多く頂戴しております。それらのご意見を踏まえ

して、昨年も、十日市場で町民の皆様を直接聴く機会を設けました。本年も町民の皆様の声に直接聴く機会を少しでも多く設け、議会がすべきことを実践し、町民に求められていることを一つでも多く実現できるよう、議員一同、精一杯努力してまいります。

本年も、二元代表制の一翼を担う議会として、常に町民に寄り添い、わかりやすく開かれた議会の構築に努めてまいります。今後とも町民の皆様のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって良い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



浪江町議会議員 (議席番号順)

- 武藤 晴男
- 紺野 豊
- 吉田 邦弘
- 小澤 英之
- 半谷 正夫
- 紺野 則夫
- 佐々木 茂
- 山本 幸一郎
- 高野 武
- 渡邊 泰彦
- 松田 孝司
- 佐々木 勇治
- 山崎 博文
- 紺野 栄重